

平成 16 年 10 月 19 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル バ ッ ク  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 久 三  
(コード番号:6728 東証一部)  
問 合 せ 先 常務取締役経営企画室長 常 見 佳 弘  
(TEL. 0467-89-2033 大代表)

## 電離真空計 (GI-TL3、GI-TL3RY) 無償修理について

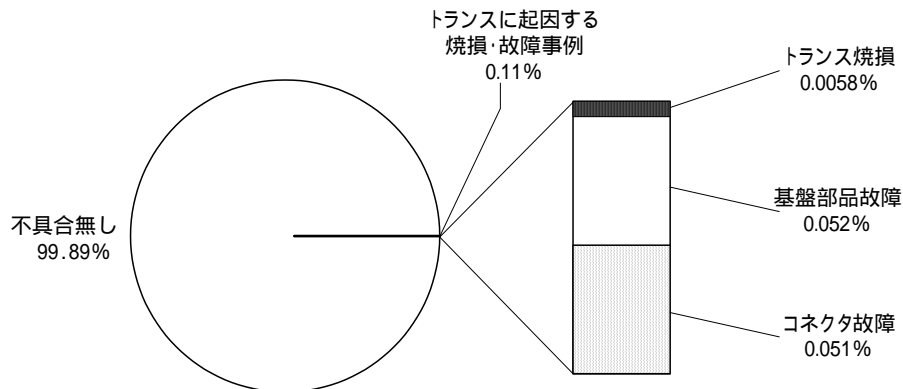
### 1. 無償修理に至った経緯

#### 発生する問題

- ・ GI-TL3/GI-TL3RY は 20 年前より販売を行っており、出荷台数は約 19,000 台になります。その出荷された機器において内部に搭載されておりますトランスが焼損に至った事例が 11 件発生しました。

#### 発生要因と対策

- ・ トランスの通常の寿命は 20 年程度と言われておりますが、発生した 11 件は、弊社出荷後 3～10 年という時間で焼損が起きていることから、内部設計の再検証を行いましたところ、2 次側の負荷が定格を逸脱している部分がありました。また、トランスに起因していると思われる電気部品の故障事例もあり、定格の適正化とトランス内部に温度ヒューズの搭載という改善を実施いたします。



PIC02 : SEMI-STANDARD による故障率解析結果

文中の%は% of units/year の意味となります。

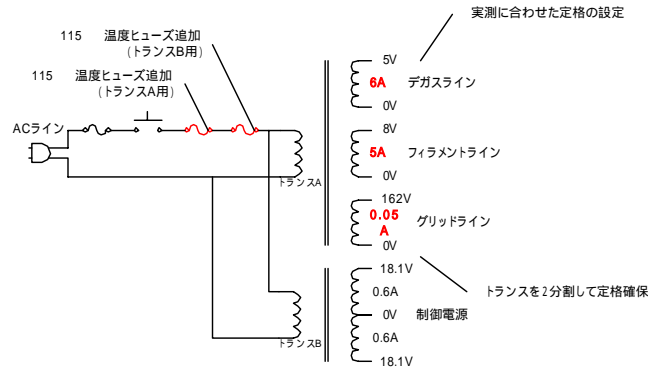
### 2. 無償修理の内容

#### トランスを実測に合わせた定格の設定

- ・ 焼損したトランスは、センサーへの電源および制御回路への電源を出力しております。それらの電源のうち、フィラメント、グリッド、デガスのラインで定格をオーバーしておりました。その箇所を実測レベルに基づき定格を確保しました。これにより最大稼働率をコア部で 50%、線材部で 20%とし、発熱も最小限に抑えられるようにいたしました。

### 温度ヒューズを安全のために追加

- 従来品では温度ヒューズが存在しなかった為、電源を遮断することが出来ずに焼損事故に繋がりましたが、今回温度ヒューズを搭載したトランスにして万が一の問題が発生しても、電源を遮断して焼損の可能性を無くすようにしました。



PIC03 : 対策模式図

弊社基準に則り、調整、検査および校正を実施し、返却いたします。

### 3. 無償修理対応期間

平成 16 年 10 月 19 日 ~ 平成 18 年 10 月 19 日

### 4. 外観写真



PIC01 : GI-TL3/GI-TL3RY 外観写真

### 5. 本件に関するお問合せ先

- 株式会社アルバック 規格品事業部 GI-TL3/GI-TL3RY 無償修理窓口  
TEL : 0120-892-435 FAX : 0120-892-436 E-mail : support\_t13@ml.ulvac.com
- 受付時間  
月曜日 ~ 金曜日 午前 9 時 ~ 午後 5 時 (FAX は 24 時間受け付けております。)

以上